

## 業績（2022年度）

### A. 原著論文

1. Miura M, Tanaka S, Ikeda M, Kawakami J, Watanabe H, Namiki N, Uchida S. Increased plasma drug concentration and decreased additional insulin secretion following oral administration of glimepiride in Spontaneously Diabetic Torii rats. *Pharmazie*. 2022;77(1):6-8.
2. Taguchi R, Naito T, Suzuki K, Kurosawa Y, Itoh H, Kawakami K. Maternal plasma and cord blood concentration profiles of duloxetine during the peripartum period and their associations with the modified Finnegan score. *Ther Drug Monit*. 2022;44(2):351-352.
3. Akutsu S, Mino Y, Naito T, Hoshikawa K, Saotome M, Maekawa Y, Kawakami J. Stereoselective interaction of tolvaptan with amiodarone under racemic metabolic impact by CYP3A5 genotypes in heart failure patients. *Eur J Clin Pharmacol*. 2022;78(8):1311-1320.
4. Yagi T, Mannheimer B, Reutfors J, Ursing J, Giunta DH, Kieler H, Linder M. Bleeding events among patients concomitantly treated with direct oral anticoagulants and macrolide or fluoroquinolone antibiotics. *Br J Clin Pharmacol*. 2023;89(2):887-897.
5. Mochizuki T, Shibata K, Naito T, Shimoyama K, Ogawa N, Maekawa M, Kawakami J. LC-MS/MS method for the quantitation of serum tocilizumab in rheumatoid arthritis patients using rapid tryptic digestion without IgG purification. *J Pharm Anal*. 2022;12(6):852-859.
6. Miyadera Y, Yamada T, Imoto Y, Yagi T, Naito T, Kawakami J. Characterization of plasma daptomycin in patients with serum highly glycosylated albumin and obesity. *J Infect Chemother*. 2023 29(2):119-125.
7. Mino Y, Naito T, Ohshiro J, Yamada T, Kawakami J. Investigation of the boxed warnings in package inserts of prescription medicines for medical professionals in Japan. *Pharm Pract*. 2022;20(4):2733.
8. Nakatsugawa E, Naito T, Imoto Y, Shibata K, Ono T, Kawakami J. Characterization of endogenous markers of hepatic function in patients receiving itraconazole treatment for prophylaxis of deep mycosis. *J Infect Chemother*. 2023;29(3):244-249.

### Letter to the Editor

1. Yagi T. Response to comment on "Expectation for prediction models for prothrombin time international normalized ratio under warfarinization for safety use in the era of precision medicine". *Ann Pharmacother*. 2022;56(1):110-111.

### B. 論文形式のプロシーディング

### C. 総説

1. 堀雄史：内視鏡検査時の色素製剤調製の方法は？ 月刊薬事. 2022, 64(6):215-218.
2. 見野靖晃. 病院紹介：信頼されて活躍できる薬剤師・生き生きと働き学ぶことができる薬剤部. 日病薬誌 2022;58(7):848-849.
3. 見野靖晃, 川上純一. 子どもの薬用量は体重換算で決まるものが多いと思いますが、そうできないもの

はどのようなものですか？ JOHNS 2022;38(9):1081-1082.

4. 佐藤聖. 薬剤部「保険薬局との地域連携 ～切れ目のない安全ながん化学療法の提供を目指して～」  
浜松医科大学医学部附属病院広報誌 はんだ山の風. 2022;48:6-7.
5. 見野靖晃. 薬剤部特任准教授に就任して. 浜松医科大学医学部附属病院広報誌 はんだ山の風  
2022;49:3-3.
6. 青野浩直, 川上純一. 「病院フォーミュラりの考えと当院の作成事例」バイオシミラー導入時の取り組み  
を中心に. PHARM STAGE 2022;22(2):49-55.
7. 大城隼也. 当院における対人業務拡充に向けた取り組み～病院薬剤師から薬剤師以外の者へのタスク・  
シフティング～. 静岡県病院薬剤師会会報 2023;79:6-8.
8. 川上純一. 表彰 伝統に根ざしつつ常に未来志向思考で：厚生労働大臣表彰を受賞して. 静岡県病院薬  
剤師会会報 2023;79:13.
9. 大城隼也. 中堅薬剤師の声. 静岡県病院薬剤師会会報 2023;79:21.

#### D. 報告書

#### E. 記事・寄稿

#### F. 番組出演・報道

#### G. 著書・翻訳

1. 見野靖晃. 血液透析患者における薬物動態の特徴を教えてください。いまさら訊けない！透析患者薬  
剤の考えかた,使いかた Q&A Ver.3. 中外医学社. 東京. 2022.6.25. p. 1-6
2. 佐藤聖. がん薬物療法における薬剤師の役割. よくわかる！浜松医科大学医学部附属病院 最新医療の  
いま. 南々社. 広島. 2022.12.14. p. 92
3. 田中達也. 緩和ケアチームにおける薬剤師の役割. よくわかる！浜松医科大学医学部附属病院 最新医  
療のいま. 南々社. 広島. 2022.12.14. p. 122
4. 山田尚広. 抗菌薬の正しい使い方を薬剤師がサポート. よくわかる！浜松医科大学医学部附属病院 最  
新医療のいま. 南々社. 広島. 2022.12.14. p. 122
5. 見野靖晃. 最良の薬物療法をめざす. よくわかる！浜松医科大学医学部附属病院 最新医療のいま. 南々  
社. 広島. 2022.12.14. p. 126-127
6. 八木達也. 「お薬手帳」のさらなる活用法. よくわかる！浜松医科大学医学部附属病院 最新医療のいま.  
南々社. 広島. 2022.12.14. p. 138-139
7. 堀雄史. 臨床実習の基礎. モデル・コアカリキュラムに沿ったわかりやすい新実務実習テキスト 2023-  
2024. じほう. 東京. 2022.8.31. p. 40-43
8. 堀雄史. 処方せんに基づく医薬品の調製. モデル・コアカリキュラムに沿ったわかりやすい新実務実習  
テキスト 2023-2024. じほう. 東京. 2022.8.31. p. 156-158

#### H. 学会活動

【特別講演・シンポジウム・受賞講演など】

国内学会

1. 川上純一. 超スマート社会に向けた創薬イノベーションと TDM：フォーミュラリーによるバイオシミラー使用促進を含めて. 第 38 回日本 TDM 学会・学術大会. 2022 年 5 月 (Web 開催)
2. 堀雄史. シンポジウム 4：医療安全の専門家からみた医薬品安全性. 第 8 回日本医薬品安全性学会学術大会. 2022 年 8 月 (Web 開催)
3. 八木達也. 臨床薬剤師が挑む！リアルワールドデータを用いた研究 ～How to から実践まで～: 【実践編】単施設～国内外のデータベースを用いた臨床研究の経験を活かして. 第 32 回日本医療薬学会年会. 2022 年 9 月 (群馬)
4. 八木達也. 薬剤師 x アカデミアで切り開く医療薬学研究的未来: データサイエンスを活用して臨床の疑問を解決できるか！？～臨床薬剤師によるデータベース研究とは～. 第 32 回日本医療薬学会年会. 2022 年 9 月 (群馬)
5. 八木達也. 見えてきた！多種多様な薬物相互作用の解釈と臨床応用: 薬物間相互作用をどのように評価・臨床応用するか～臨床研究・臨床薬剤師の経験から～. 第 32 回日本医療薬学会年会. 2022 年 9 月 (群馬)
6. 川上純一. MS21 令和 4 年度診療報酬改定と医薬政策の動向: バイオシミラー促進の意義と導入事例. 第 32 回日本医療薬学会年会. 2022 年 9 月 (群馬)
7. 川上純一. ジェネリック医薬品・バイオシミラーを取り巻く環境と今後に期待すること: 超スマート社会に向けた創薬イノベーションと持続可能な医療: ジェネリック医薬品・バイオシミラー使用促進への取り組み. 第 88 回医療薬学公開シンポジウム. 2022 年 11 月 (Web 開催)
8. 八木達也. ミニランチョン'Meet the Expert': 薬剤師さんに聞く「私の履歴書」～多職種連携を中心に～. 第 43 回日本臨床薬理学会学術総会. 2022 年 12 月 (横浜)
9. 八木達也. 「研究チーム」で構築するキャリアパスを見据えた人材育成: 薬剤師による多機関共同研究とキャリアパスを見据えた人材育成. 日本薬学会第 143 年会. 2023 年 3 月 (札幌)

#### 【一般発表】

##### 国内学会

1. 中西美怜, 八木達也, 石田卓矢, 山本知広, 三浦文美, 大澤志保, 相曾由起子, 藤田葵, 山口れな, 伊藤悠, 曾布川実里, 袴田美典, 丸山早織, 三浦基靖, 川上純一. 調剤ロボットおよび調剤支援システム導入が及ぼす調剤インシデント及び処方介入への影響. 第 32 回日本医療薬学会年会. 2022 年 9 月 (群馬)
2. 阿久津駿太, 見野靖晃, 内藤隆文, 星川昂平, 早乙女雅夫, 前川裕一郎, 川上純一. 心不全患者におけるトルバプタン光学異性体の体内動態に及ぼす CYP3A5 の影響とアミオダロンの立体選択的相互作用. 第 32 回日本医療薬学会年会. 2022 年 9 月 (群馬)
3. 関夏望, 朝倉充俊, 見野靖晃, 中津川瑛美, 小泉知展, 内藤隆文. 胸腺癌に対しレンバチニブ服用後に心不全を発症した 1 症例: レンバチニブと IL-6 の血中濃度からの考察. 第 32 回日本医療薬学会年会. 2022 年 9 月 (群馬)
4. Shibata K, Hosokawa S, Maekawa M, Kawakami J, Naito T. Correlations between serum cetuximab, cachexia stage, and its related symptoms in head and neck cancer patients. 第 16 回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム. 2022 年 10 月 (和歌山)
5. 家田維哉, 黒田侑花, 松本貴大, 山下彩花, 渡邊崇, 木村通男, 堀雄史, 川上純一, 頭金正博. 医療情報データベースを活用した抗菌薬による薬剤性急性腎障害の発症リスク及び慢性腎臓病へ移行するリスク

の評価. 第 43 回日本臨床薬理学会学術総会. 2022 年 12 月 (横浜)

6. 望月啓志, 柴田海斗, 内藤隆文, 下山久美子, 小川法良, 川上純一. 関節リウマチ患者における血清中トシリズマブ濃度及び IL-6 濃度に基づく CYP3A 活性の変動性評価. 第 43 回日本臨床薬理学会学術総会. 2022 年 12 月 (横浜)
7. 中津川瑛美, 内藤隆文, 柴田海斗, 前川真人, 川上純一. がん病態時における血中ナルデメジン濃度に及ぼす CYP3A5 および ABCB1 の遺伝子多型と悪液質進行の影響. 日本薬学会第 143 年会. 2023 年 3 月 (札幌)
8. 寺澤美穂, 柴田海斗, 三村亨, 中津川瑛美, 北澤加純, 戸谷理沙, 高橋和史, 中村敏範, 三枝達也, 内藤隆文. 過活動膀胱に対してソリフェナシン服用後に精神症状を発症したと考えられた 1 例: ソリフェナシンおよびインターロイキン 6 の血中濃度からの考察. 日本薬学会第 143 年会. 2023 年 3 月 (札幌)
9. 室伏琢磨, 八木達也, 辻大樹, 古島大資, 伊藤邦彦, 川上純一. プロトンポンプ阻害薬服用患者における腎機能の長期変動: 日本の単施設データベースを用いた縦断研究. 日本薬学会第 143 年会. 2023 年 3 月 (札幌)

#### 地域における研究会、研修会

1. 内田千瑛: 外来がん化学療法における取り組み. 病院業務におけるスキルアップを考える会. 2022 年 11 月 (浜松)
2. 青野浩直: 当院のフォーミュラリと医薬品管理. 秋田県病院薬剤師会学術講演会. 2022 年 8 月 (秋田)
3. 丸山修治. チームで行う糖尿病薬物治療. 第 19 回伊豆長岡糖尿病療養指導セミナー. 2022 年 11 月 (静岡)

#### 【学会等における座長、オーガナイザー】

##### 国内学会

1. 八木達也: 第 32 回日本医療薬学会年会, オーガナイザー, 座長, シンポジウム (臨床薬剤師が挑む! リアルワールドデータを用いた研究 ~How to から実践まで~), 2022 年 9 月 (群馬)
2. 見野靖晃: 第 16 回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム, 座長, 一般演題 (口頭) 3, 2022 年 10 月 (和歌山)
3. 八木達也: 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022, 座長, 基礎—臨床融合シンポジウム 1 「薬物間・薬食間相互作用の基礎知識の活かし方を学ぶ」, 2022 年 11 月 (静岡)
4. 山本知広: 病院業務におけるスキルアップを考える会, 総合司会, 2022 年 11 月 (浜松)
5. 川上純一: 第 43 回日本臨床薬理学会学術総会, 座長, 一般演題 (薬物有害反応 / 薬物相互作用), 2022 年 11 月 (横浜)
6. 八木達也 日本薬学会第 143 年会, オーガナイザー, 座長, シンポジウム (薬剤師による多機関共同研究とキャリアパスを見据えた人材育成), 2023 年 3 月 (札幌)

#### 地域における研究会、研修会

1. 青野浩直. 静岡県病院薬剤師会西部支部例会, 座長, 特別講演 (高齢者 CKD 患者の栄養療法と薬物治療), 浜松, 2022.5.18
2. 見野靖晃. 静岡県病院薬剤師会西部支部学術講演会, 座長, 特別講演 (超高齢社会における骨粗鬆症治療薬の使い分けとピットホール), 浜松, 2023.3.16

## I. 学会・会議開催

1. 佐藤聖, 田中達也. 第1回半田山がん症例情報交換会. 2022年4月20日(浜松)
2. 佐藤聖, 田中達也. 第2回半田山がん症例情報交換会. 2022年7月20日(浜松)
3. 佐藤聖, 田中達也. 第3回半田山がん症例情報交換会. 2022年11月2日(浜松)
4. 山本知広, 石田卓矢, 丸山修治. 第6回糖尿病市民公開講座. 2022年11月6日(浜松)
5. 佐藤聖, 田中達也. 第4回半田山がん症例情報交換会. 2023年1月18日(浜松)
6. 山本知広, 石田卓矢, 丸山修治. 第14回はままつCDE研究会. 2023年2月4日(浜松)

## J. 学会等における役職

1. 川上純一: 日本病院薬剤師会 副会長
2. 川上純一: 静岡県病院薬剤師会 副会長
3. 川上純一: 日本薬剤師会 副会長
4. 川上純一, 見野靖晃, 堀雄史, 八木達也: 日本医療薬学会 代議員
5. 川上純一: 日本医療薬学会 学会誌 (Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences, Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences) 編集委員 (Editorial advisory board)
6. 川上純一, 見野靖晃: 日本臨床薬理学会 社員
7. 川上純一: 日本臨床薬理学会 広報委員会 委員
8. 川上純一: 日本臨床薬理学会 東海・北陸支部 支部世話人
9. 川上純一: 日本薬学会 医療薬科学部会 世話人
10. 川上純一: 日本薬学会 東海支部 幹事
11. 川上純一: 日本薬物動態学会 代議員
12. 川上純一: 日本薬剤学会 代議員
13. 川上純一: 日本薬剤疫学会 評議員
14. 川上純一: 日本薬剤疫学会 監事
15. 川上純一: 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 理事
16. 川上純一: 静岡県立大学 研究倫理審査委員会 委員
17. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 委員
18. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 疾病対策部会 委員
19. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 再生医療等評価部会 委員
20. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 臨床研究部会 委員
21. 川上純一: 厚生労働省 厚生科学審議会 医薬品医療機器制度部会 委員
22. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 委員
23. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 薬事分科会 委員
24. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品第一部会 委員
25. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品第二部会 委員
26. 川上純一: 厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 医薬品再評価部会 委員
27. 川上純一: 厚生労働省 社会保障審議会 医療分科会 委員
28. 川上純一: 厚生労働省 社会保障審議会 療養病床の在り方等に関する特別部会 委員
29. 川上純一: 厚生労働省 特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会 構成員

30. 川上純一: 厚生労働省 がん診療提供体制のあり方に関する検討会 構成員
31. 川上純一: 厚生労働省 医療放射線の適正管理に関する検討会 構成員
32. 川上純一: 厚生労働省 医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議 構成員
33. 川上純一: 厚生労働省 医政局経済課委託事業 後発医薬品使用促進ロードマップ検証検討事業検討委員会 委員
34. 川上純一: 厚生労働省 医政局経済課委託事業 バイオ医薬品の使用促進に係る普及啓発等事業 委員
35. 川上純一: 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 審査・安全業務委員会 委員
36. 川上純一: 東海地区薬学部学生病院・薬局実務実習調整機構 委員
37. 川上純一: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) トライアウト 専門委員
38. 川上純一: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START) 外部専門家
39. 川上純一: 公益財団法人日本医療機能評価機構 評議員
40. 川上純一: 公益財団法人日本医療機能評価機構 評価事業運営委員会 委員
41. 川上純一: 一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援事業運営委員会 委員
42. 川上純一: 一般社団法人日本医薬情報センター (JAPIC) 副会長
43. 川上純一: 国立大学附属病院長会議常置委員会 特定機能病院間相互のピアレビュー実施に伴う評価方法と基準の作成等に係るワーキンググループ 委員
44. 見野靖晃: 静岡県病院薬剤師会 評議員
45. 見野靖晃: 日本薬学会 医療薬科学部会若手世話人
46. 見野靖晃: 日本薬学会 代議員
47. 見野靖晃: 日本 TDM 学会 TDM ガイドライン策定委員会 委員
48. 見野靖晃: 日本 TDM 学会 評議員
49. 青野浩直: 静岡県病院薬剤師会 理事
50. 堀雄史: 日本病院薬剤師会 医療安全対策委員
51. 堀雄史: 日本病院薬剤師会 生涯研修委員会試験小委員
52. 八木達也: 日本臨床薬理学会 編集委員会 委員
53. 八木達也: 日本薬剤疫学会 編集委員会委員
54. 八木達也: 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師研修小委員会委員
55. 山田尚広: 国公立大学病院感染対策協議会 ガイドライン作業部会 抗菌薬適正使用ガイドライン作成担当委員

## K. 学術雑誌への貢献

### 査読

1. 見野靖晃. *Current Drug Safety* (Apr 2021)
2. 丸山修治. *日本病院薬剤師会雑誌* (Jun 2022)
3. 丸山修治. *日本病院薬剤師会雑誌* (Jul 2022)

- 見野靖晃. Current Drug Safety (Jul 2022)
- 丸山修治. 日本病院薬剤師会雑誌 (Aug 2022)
- 見野靖晃. Current Drug Safety (Sep 2021)
- 見野靖晃. Current Drug Safety (Sep 2021)
- 見野靖晃. Current Drug Safety (Oct 2021)
- 見野靖晃. Current Drug Safety (Dec 2021)
- 丸山修治. 日本病院薬剤師会雑誌 (Jan 2023)
- 見野靖晃. 医療薬学 (Jan 2023)
- 見野靖晃. Current Drug Safety (Jan 2023)
- 見野靖晃. 日本病院薬剤師会雑誌 (Feb 2023)
- 丸山修治. 日本病院薬剤師会雑誌 (Mar 2023)
- 丸山修治. 日本病院薬剤師会雑誌 (Mar 2023)

#### L. 研究会

#### M. 学外講義・特別講演

- 佐藤聖. 静岡県立大学薬学部 実務事前実習. 2022年12月7日 (静岡)
- 堀 雄史. 医療安全管理部門 専従 GRM と医薬品安全管理責任者との連携. 令和4年度医薬品安全管理責任者等講習会 基礎編. 2022年6月11日
- 丸山修治. 浜松糖尿病ネットワーク一般口演. 2022年8月3日

#### N. 院内講義・講演

- 見野靖晃. 医薬品のリスクマネジメント (処方の仕方、薬剤使用の注意点). プライマリ・ケアの実践講座. 2022年4月16日
- 田中紀章. 静脈栄養の基本. 第202回NST勉強会. 2022年5月23日
- 森下由加里. COVID-19 治療薬 令和4年度第1回感染対策講習会. 2022年4月20日
- 堀雄史. 医薬品の管理. 看護部新採用者研修 (2022年)
- 望月啓志. 抗菌薬適正使用 Episode9. 令和4年度第2回感染対策講習会. 2022年9月26日
- 森下由加里. 抗菌薬適正使用 Episode10. 令和4年度第3回感染対策講習会. 2023年2月1日

#### O. 施設見学

#### P. 研究助成

- 川上純一 (代表), 内藤隆文 (分担): 2021年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C) 「がん病態時における末梢性  $\mu$  オピオイド受容体拮抗薬による臨床効果の個人差要因の解明」 (2021–2023年度) (新規)
- 内藤隆文 (代表), 川上純一 (分担): 2021年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C) 「周産期における肝取り込みトランスポーターの活性評価による甲状腺ホルモンの挙動解析」 (2020–2022年度) (継続)
- 見野靖晃 (代表), 川上純一 (分担): 2021年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C) 「PK-PD 解析に基づ

- く自己免疫疾患に対する低分子分子標的薬の投与設計法の確立」(2020–2022 年度)(継続)
4. 間賀田泰寛(代表), 内藤隆文(分担):2021 年度科学研究費補助金, 挑戦的研究(萌芽)「がん悪液質における中枢機能障害の画像科学による病態機能解明」(2020–2022 年度)(継続)
  5. 山田尚広(代表):2021 年度科学研究費補助金, 若手研究「皮膚障害発現機序の解明によるポリコナゾールの至適投与設計法の開発」(2020–2022 年度)(継続)
  6. 田中達也(代表):2021 年度科学研究費補助金, 若手研究「腸内細菌叢の変化に着目した PPI 投与が及ぼす薬物代謝能への影響の評価」(2020–2022 年度)(継続)
  7. 八木達也(代表):2021 年度科学研究費補助金, 若手研究「抗菌薬による腸内フローラの変化が及ぼす CYP3A4 代謝薬剤の薬効・安全性への影響」(2019–2022 年度)(継続)
  8. 井元優美(代表):2022 年度科学研究費補助金, 若手研究「アゾール系抗真菌薬の薬物輸送担体阻害に基づく相互作用と臨床検査値の変動機序の解明」(2022-2026 年度)(新規)
  9. 佐藤聖(代表):2022 年度科学研究費補助金, 若手研究「がん悪液質の病態時における CYP3A 活性の定量評価とグレリン様作用薬の影響の解明」(2022-2025 年度)(新規)
  10. 中津川瑛美(代表):2022 年度科学研究費補助金, 奨励研究「がん悪液質スコアに着目したナルデメジンの血中動態・臨床効果の個人差解明」(新規)
  11. 坂口健太(代表):2022 年度科学研究費補助金, 奨励研究「CYP3A4/5 代謝活性に基づく酸関連疾患に対するボノプラザンの個別化投与設計」(新規)
  12. 望月啓志(代表):2022 年度科学研究費補助金, 奨励研究「血中トシリズマブ濃度の個人間差に対する IL-6 受容体の遺伝子多型の関連性解析」(新規)
  13. 清水穂香(代表):2022 年度科学研究費補助金, 奨励研究「がん悪液質関連ホルモンであるグレリンとペムブロリズマブ薬物動態の関係」(新規)
  14. 大澤志保(代表):2022 年度科学研究費補助金, 奨励研究「退院先の療養形態ごとにカスタマイズした退院サマリーの作成と評価」(新規)
  15. 八木達也(代表): 浜松医科大学. 2021 年度若手研究プロジェクト「Sodium-glucose cotransporter-2 阻害薬の抗血小板作用は経口抗凝固薬の心血管イベントおよび出血リスクに影響を及ぼすか? ~国際共同・学内横断 Reverse Translational Research~」

## Q. 共同研究

### 【国内】

1. 村木優一、冢瀬諒、漣航平(京都薬科大学): テイコプラニンあるいはバンコマイシンとピペラシリン/タゾバクタムの併用療法による急性腎障害の発現率の比較
2. 伊藤邦彦, 辻大樹, 室伏琢磨(静岡県立大学): 日本のデータベースを用いた PPI と有害作用発現リスクとの関係

### 【学内】

1. 小川法良(免疫リウマチ内科): 関節リウマチ患者における免疫抑制薬の体内動態と薬効および有害反応との関係
2. 三宅秀明(泌尿器科): 腎細胞がん患者における抗がん薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築



3. 前川裕一郎（循環器内科）：心不全患者における利尿薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
4. 前川裕一郎（循環器内科）：心房細動患者における抗凝固薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
5. 細川誠二（耳鼻咽喉科）：頭頸部がん患者における抗がん薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
6. 小野孝明（血液内科）：易感染性患者における抗真菌薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
7. 加藤明彦（血液浄化療法部）：栄養輸液の連続投与が体内へ及ぼす影響の解明
8. 杉本健（消化器内科）：酸関連疾患患者における胃酸分泌抑制薬の体内動態と薬効・有害作用の変動予測法の構築
9. 黒住和彦（脳神経外科）：てんかん患者における抗てんかん薬の血中動態と臨床効果の個人差要因の解明
10. 松山幸弘（整形外科）：静脈血栓塞栓症における抗凝固薬とその代謝物の体内動態の個人差要因とそれらの治療効果・有害作用との関係解析

## R. 受賞

1. 川上純一. 令和4年度薬事功労者厚生労働大臣表彰, 厚生労働省, 2022.10.21
2. 室伏琢磨. 日本薬学会第143年会学生優秀発表賞, 日本薬学会, 2023.4.25

## S. 資格認定（2022年4月1日～2023年3月31日）

1. 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師 1名：加藤文美
2. 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 2名：加藤真也, 佐藤聖
3. 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師 1名：加藤真也
4. 日本臨床腫瘍学会 がんゲノム医療コーディネーター研修会受講 1名：佐藤聖
5. 日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師 2名：八木達也, 山田尚広
6. ICD制度協議会 インфекションコントロールドクター 2名：八木達也, 山田尚広
7. 日本病院薬剤師会 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 1名：大城隼也
8. 日本糖尿病療養指導士認定機構 糖尿病療養指導士 4名：山本知広, 丸山修治, 石田卓矢, 内田千瑛
9. 日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療法士 6名：青野浩直, 山本知広, 田中紀章, 加藤文美, 玉内志保, 内田千瑛
10. 日本臨床栄養代謝学会 臨床栄養代謝専門療法士（がん専門療法士）1名：田中紀章
11. 日本薬剤師研修センター 認定薬剤師 5名：見野靖晃, 田中紀章, 田中達也, 大城隼也, 中西美怜
12. 薬学教育協議会 認定実務実習指導薬剤師 12名：川上純一, 見野靖晃, 青野浩直, 堀雄史, 八木達也, 山本知広, 高井伸彦, 丸山修治, 田中紀章, 山田尚広, 石田卓矢, 加藤文美
13. 日本病院薬剤師会 日病薬認定指導薬剤師 12名：川上純一, 見野靖晃, 青野浩直, 八木達也, 加藤真也, 山田尚広, 田中紀章, 石田卓矢, 田中達也, 玉内志保, 大原早織, 井元優美
14. 日本病院薬剤師会 日病薬認定病院薬学認定薬剤師 15名：高井伸彦, 加藤真也, 田中達也, 玉内志保, 井元優美, 内田千瑛, 森下由加里, 加藤彩, 鈴木光路, 山本和輝, 坂口健太, 鈴木利昌, 望月啓志, 黒澤

優子, 中津川瑛美

15. 日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師 14名: 川上純一, 見野靖晃, 青野浩直, 堀雄史, 八木達也, 加藤真也, 丸山修治, 山田尚広, 田中紀章, 石田卓矢, 佐藤聖, 田中達也, 大城隼也, 井元優美
16. 日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師 6名: 川上純一, 見野靖晃, 堀雄史, 八木達也, 丸山修治, 山田尚広
17. 日本臨床薬理学会 認定薬剤師 5名: 川上純一, 見野靖晃, 山田尚広, 田中紀章, 佐藤聖
18. 日本臨床薬理学会 認定CRC 1名: 高井伸彦
19. 日本臨床薬理学会 指導薬剤師 3名: 川上純一, 見野靖晃, 山田尚広
20. 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師 1名: 田中紀章
21. 日本医療薬学会 薬物療法指導薬剤師 1名: 八木達也
22. 日本臨床化学会 認定臨床化学者 1名: 見野靖晃
23. 日本薬剤疫学会 認定薬剤疫学家 1名: 堀雄史
24. 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 レギュラトリーサイエンスエキスパート (PV分野) 1名: 堀雄史
25. 日本循環器学会 心不全療養指導士 1名: 山口れな
26. 日本病院薬剤師会 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習 受講 14名: 見野靖晃, 加藤真也, 山田尚広, 石田卓矢, 佐藤聖, 田中達也, 井元優美, 鈴木祐介, 坂口健太, 鈴木利昌, 望月啓志, 黒澤優子, 中津川瑛美, 山口れな
27. 有機溶剤作業主任者 技能講習受講 1名: 見野靖晃
28. 普通第一種圧力容器取扱作業主任者 技能講習受講 1名: 堀雄史
29. 静岡県 DMAT-L 隊員 2名: 石田卓矢, 大城隼也

#### T. 施設認定 (2022年4月1日~2023年3月31日)

1. 日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師研修施設
2. 日本医療薬学会 がん専門薬剤師研修施設
3. 日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師研修施設
4. 日本医療薬学会 地域薬学ケア専門薬剤師研修施設 (基幹施設)
5. 日本臨床薬理学会 認定薬剤師研修施設
6. 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師研修事業における暫定研修施設
7. 薬学研究協議会 薬学生長期実務実習受入施設

#### U. 学位申請

1. 阿久津駿太: 博士 (医学) 浜松医科大学 (2023年3月) 「心不全患者における CYP3A5 遺伝子型によるラセミ代謝の影響下での、アミオダロンのトルバプタンへの立体選択的相互作用. Stereoselective interaction of tolvaptan with amiodarone under racemic metabolic impact by CYP3A5 genotypes in heart failure patients」
2. 宮寺友香里: 博士 (医学) 浜松医科大学 (2023年3月) 「高血清糖化アルブミン患者および肥満患者における血漿ダプトマイシンの特徴. Characterization of plasma daptomycin in patients with serum highly glycosylated albumin and obesity」

## V. 学位

川上純一（薬学）  
見野靖晃（医療薬学）  
堀雄史（臨床薬学）  
八木達也（医学）  
加藤真也（医学）  
丸山修治（医療薬学）  
大城隼也（薬学）  
山田尚広（医学）  
石田卓矢（医学）  
佐藤聖（医学）  
田中達也（医学）  
井元優美（医学）  
阿久津駿太（医学）  
宮寺友香里（医学）  
計 14 名

### 大学院生

浜松医科大学の大学院生 7 名  
静岡県立大学の大学院生 1 名

<文責> 見野靖晃